

報告第26号

一般財団法人西海市農業振興公社令和4事業年度事業計画及び予算並びに令和3事業年度決算報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、一般財団法人西海市農業振興公社令和4事業年度事業計画及び予算並びに令和3事業年度決算について、次のとおり報告する。

令和4年9月2日

西海市長 杉澤 泰彦

# 令和4年度事業計画書

## I・事業の基本方針

わが国の農業人口は毎年減少し、合わせて農業従事者の高齢化も進んでいる。

西海市においても農業者の減少や高齢化は進んでおり、それに伴い耕作放棄地や荒廃農地も増えてきている。

しかし、条件が整った農地については、規模拡大を考える農業者や法人等が農地中間管理事業を活用し、農地を借受け有効的に活用している。

そのような中で西海市農業振興公社としては、現在農地基盤整備事業進行中の面高地区や、令和6年度の事業採択を目指し推進活動を行っている西海町太田和地区、令和7年度の事業採択を目指し推進委員会の設立を計画中の西海町天久保地区等の事業推進委員の方々と連携し、関係機関の協力を仰ぎながら農地基盤整備事業の早期完成を目指し事業推進を図っていききたい。

また、現在農地基盤整備事業の工事が行われている、西彼町白崎地区と小迎地区において、今後も引き続き工事が完了し整備を終えた農地が、速やかに担い手に貸し付けられ営農開始が出来るよう、農用地の利用権設定作業も迅速に実施したい。

農作業の労力軽減対応措置として取り組んでいる「農作業支援事業」であるが、従来から行っていた稲刈り作業及び籾乾燥に加え、令和3年度から取り組みを開始した水田の耕耘・代掻き及び田植え作業の受託についても、今後、更なる利用者の拡大が見込めることから、事業内容のPRを積極的に行い受託件数の増加を目指す。

6次産業化の推進については、西彼農業高等学校の食品加工部の生徒と共同で取り組んできた西海市の農産物を原料とした新商品開発事業を継続し、新たな西海市の特産品となれるような商品開発を行っていく。

アボカドやオリーブ等の新規作物については、今後も生産グループや各協議会と連携を密にし、栽培講習会や現地研修会にも積極的に参加しながら栽培希望者を募り、あわせて農地中間管理事業を活用した各作物の栽培に適した環境の農地斡旋により、産地形成の一助を担っていききたい。

## II・事業内容

### 1. 農地中間管理事業

長崎県農業振興公社（農地中間管理機構）より事業委託を受け、事業を開始して9年目を迎える農地中間管理事業である。

農地中間管理事業を活用し、営農継続が困難な農家から規模拡大や新規就農を目指す農業者や法人へ、優良農地の貸借をスムーズに行うための事業であり、近年は市内の農業者の方々からの農地貸借の相談も多く寄せられ、農地中間管理事業の認知度も高くなってきた。

今後も引き続き事業を推進し、担い手農家の農地集積を促しながら経営規模の拡大に助力していきたい。

また、市内各地で実施及び計画されている基盤整備事業の中でも大きな役割を担う事業であり、現在工事中の西彼町白崎・小迎両地区では、令和4年度内に完了した農地を担い手へ配分を行う。

現在、農地基盤整備事業の進行及び計画中である西海町の面高・太田和・天久保地区などにおいては、定期的に行われる基盤整備事業推進委員会へ積極的に参加し、地元地権者や担い手農家と協力し事業の早期完成を目指す。

更に、「多面的機能支払交付金」や「中山間地域直接支払制度」の交付金を受けている地域等、エリアが確定し構成員が明確になっている地区についても農地中間管理事業の活用を勧めていきたい。

※令和4年度の農地集積目標：35ha



太田和地区基盤整備推進会 地区説明会  
令和4年3月4日（太田和憩いの家）



小迎地区基盤整備事業みかん苗木植栽風景  
令和4年3月13日



スマート農業推進協議会 ラジコン除草機実演会  
令和3年7月5日



農地中間管理事業 実務者会  
貸出希望農地現地確認  
令和4年3月17日

## 2. 農地管理事業

平成22年度より農地利用集積円滑化団体として指定を受け農地利用集積円滑化事業を活用し、地権者と担い手の間に農業振興公社が入り農地の貸借を行ってきたが、平成26年度から農地中間管理事業が開始され、西海市農業振興公社が行う農地の貸借は農地中間管理事業に一本化された。今後は契約期限を迎える農地利用集積円滑化事業で貸借した農地を随時農地中間管理事業へ切り替えていく。

また、西海市から借受けた圃場に植栽している原口早生についても、今後も引き続き管理を行い、地元の小学生に社会科の課外授業の場として提供し、収穫体験等を通じ地元の特産品に親しみを持ってもらえる機会を増やして行きたい。



西海東小学校3年1組社会科課外授業（みかん収穫体験）

（令和3年11月15日）

### 3. 農作業支援事業

農業者の高齢化に伴い、稲刈作業やその後の粃の乾燥作業の依頼が多く寄せられており今後も依頼件数は増加すると考える。令和3年度は稲刈り作業受託の計画目標 700 a に対し 919 a の作業受託を行う事が出来た。(令和2年度実績 646 a)

目標面積を大きく上回る実績を上げられたのは、西海市農業振興公社の農作業支援事業が市内の農業者に周知され始めた事と、令和3年度からJAのライスセンターへの持ち込み対応を可能にしたことが大きな要因と考える。

一方、令和3年から新たに取り組んだ田植え作業の受託は、100 a の目標面積に対して 75 a と目標達成とはならなかった。

令和4年度は更なる農作業の受託面積を増やすために、農作業支援事業のPRを積極的に行いたい。特に田植え作業の受託については市民の方々にまだ周知が不十分であり、今後広報活動を積極的に展開したい。

※令和4年度受託目標面積 稲刈り作業：950 a ・田植え作業受託：100 a



稲刈り受託作業



運搬機への粃の搬入作業



粃運搬用フレコンへ粃の搬入



ライスセンターへ粃搬入

#### 4. 6次産業化推進事業

「産・学・官」連携事業として西彼農業高等学校の食品加工部の生徒の方々と共に取り組んでいる、西海市の農産物を原料とした新商品開発事業は、今後も継続していく。令和3年度から新たに取り組んでいる野菜のペーストを生地と中のクリームに練り込んだ焼き菓子の「ダックワーズ」と「マカロン」の開発を今後も進め商品化を目指していきたい。

西海市農業振興公社が中心となり JA・商工会・長崎県県央振興局・西海市・地元農産加工グループの代表等で組織する「6（シックス）プロジェクト・加工所連絡協議会」の取り組みの中で市内の各農産物加工グループへの支援も積極的に行い、研修会や県内各地で開催されるイベント・物産展への参加の働きかけも引き続き行っていきたい。

また、西海市農業振興公社が各農産物加工グループと農家との橋渡しの役割を担い、出荷規格外の農産物を加工品の原材料として活用できるようなシステムを今後構築していきたい。



ダックワーズの生地



野菜のペーストを練りこんだクリーム  
(ニンジン・カボチャ・アスパラガス・ブロッコリー)



西彼農業高校 食品加工部の生徒2名と顧問の先生



第24回「6プロジェクト・加工所連絡協議会」会議  
令和3年8月25日（公社 会議室）

# 令和4年度当初予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	令和4年度 (a)	令和3年度 (b)	差 引 (a-b)	備 考
I 収入の部				
1. 補助金等収入	14,038,000	14,753,000	-715,000	
(1) 一般管理費	14,038,000	14,753,000	-715,000	
補助金	13,988,000	14,703,000	-715,000	市補助金
雑収入	45,000	45,000	0	冷蔵庫及び冷凍庫使用料他
預金利息	5,000	5,000	0	
2. 事業収入	12,442,000	15,247,000	-2,805,000	
(1) 農地管理事業	1,773,000	2,070,000	-297,000	
補助金	1,033,000	1,011,000	22,000	市補助金
農地貸付料	730,000	1,049,000	-319,000	約23戸分 27.5ha他
販売収入	10,000	10,000	0	みかん販売
(2) 農作業支援事業	2,600,000	4,359,000	-1,759,000	
補助金	0	2,259,000	-2,259,000	市補助金
受託収入	2,600,000	2,100,000	500,000	農作業受託収入
(3) 6次産業化推進事業	983,000	1,484,000	-501,000	
補助金	933,000	1,434,000	-501,000	市補助金
販売収入	50,000	50,000	0	アイス・ペースト販売他
(4) 農地中間管理事業	7,086,000	7,334,000	-248,000	
委託料	7,086,000	7,334,000	-248,000	県より受託事業
3. 基本財産運用収入	6,000	6,000	0	
預金利息	6,000	6,000	0	定期預金
当期収入合計	26,486,000	30,006,000	-3,520,000	

令和4年度市補助金	15,954,000
令和3年度市補助金	19,407,000
増減	-3,453,000

科 目	令和4年度 (a)	令和3年度 (b)	差 引 (a-b)	備 考
II 支出の部				
1. 一般管理費	14,038,000	14,753,000	-715,000	市補助 13,988,000
役員報酬	1,920,000	1,920,000	0	理事長1名
給与	6,652,000	7,192,000	-540,000	職員2名+臨時1名×1/2
賃金	12,000	12,000	0	研修時マイクロバス運転
福利厚生費	1,504,000	1,551,000	-47,000	社会保険、労働保険他 (臨時1名×1/2)
退職者共済掛金	408,000	408,000	0	3名分
交際費	50,000	50,000	0	公社単独
旅費交通費	91,000	168,000	-77,000	普通旅費、理事会、評議員会費用弁償
通勤手当	496,000	525,000	-29,000	3名分
需用費	956,000	955,000	1,000	光熱水費、燃料費、公社周辺建物修繕費10万他
役務費	341,000	347,000	-6,000	振込手数料、電話代他
使用料及び賃借料	840,000	840,000	0	コピー機、車両リース、PCリース
委託料	693,000	710,000	-17,000	PC保守料、会計システム保守 PC設定料 (Windowsサポート終了による)
公課費	71,000	71,000	0	法人市民税・県民税
負担金	4,000	4,000	0	社会保険協会費
2. 事業費	12,442,000	15,247,000	-2,805,000	
(1) 農地管理事業	1,773,000	2,070,000	-297,000	市補助 1,033,000
賃金	350,000	390,000	-40,000	中間保有地保全管理、柑橘園作業員
福利厚生費	28,000	28,000	0	労働保険
旅費	12,000	12,000	0	
需用費	338,000	318,000	20,000	燃料費・光熱水費・消耗品費
役務費	120,000	166,000	-46,000	利用契約に係る郵便料及び振込手数料、共済費他
使用料及び賃借料	730,000	1,000,000	-270,000	農地賃借料
委託料	35,000	17,000	18,000	消防設備点検委託料
備品購入費	0	0	0	
負担金	150,000	133,000	17,000	水土里ネット
公課費	10,000	6,000	4,000	自動車税
(2) 農作業支援事業	2,600,000	4,359,000	-1,759,000	市補助 0
賃金	1,040,000	840,000	200,000	オペレーター賃金
福利厚生費	45,000	55,000	-10,000	労働保険
需用費	1,312,000	896,000	416,000	燃料代、修繕費、籾乾燥機配線工事他
役務費	128,000	163,000	-35,000	自動車保険、振込手数料
備品購入費	0	2,330,000	-2,330,000	
公課費	75,000	75,000	0	車検時重量税・印紙税
(3) 6次産業化推進事業	983,000	1,484,000	-501,000	市補助 933,000
賃金	7,000	7,000	0	バス運転手等
旅費	27,000	171,000	-144,000	旅費 (アグリフード EXPO大阪分増)
需用費	62,000	112,000	-50,000	容器・袋等 (アグリフード EXPO大阪分増)
役務費	80,000	109,000	-29,000	原材料送料等 (アグリフード EXPO大阪分増)
委託料	745,000	845,000	-100,000	ベスト委託、アイ委託、67プロジェクト委託、 アグリフード EXPO大阪委託、西彼農業高校委託
使用料及び賃借料	10,000	188,000	-178,000	出張時通行料及び駐車料金 (アグリフード EXPO大阪分増)
原材料費	50,000	50,000	0	原料購入
負担金	2,000	2,000	0	食品衛生協会、責任者講習会会費
(4) 農地中間管理事業	7,086,000	7,334,000	-248,000	県公社より受託
3. 予備費	6,000	6,000	0	
当期支出合計	26,486,000	30,006,000	-3,520,000	



# 令和 3 年度事業報告書

## I・【事業実績総括】

2020年に行われた国勢調査によれば、わが国の農業従事者（主に自営農業に従事している世帯員）は136万1千人であり5年前に行われた調査と比べ39万6千人（22.5%）減少しており、うち65歳以上が占める割合は69.8%となり5年前に比べ4.9ポイント上昇しており、農業従事者の減少及び高齢化は確実に進んでいる。

そのような状況の中、令和2年1月15日に国内で最初の感染者が確認されて以降急激に感染の広がりを見せた新型コロナウイルスは、令和3年度中は一時感染者数も抑えられ収束の兆しが見え始めたものの、新たな変異株の出現により感染が再拡大し、飲食店に対する営業時間の短縮要請や営業自粛、各種イベントの中止等も令和2年度同様政府からの要請があった。

西海市についても、「大鍋まつり」や各種イベントの開催を見合わせるなか、令和2年中は開催を自粛していた農地基盤整備事業の推進委員会も、令和3年度は十分な感染対策を行いながら各地域の推進委員会等が開催され、農地基盤整備事業の早期着工へ向け確実に歩を進めることが出来た1年であった。

また、既に工事に着手し、樹園地の整備が完了している西彼町の白崎地区については、令和3年度に整備中であった普通畑が完成し面的工事は全て完了した。同町の小迎地区においても整地計画面積（道路・水路含まない面積）12.5haの内、令和2年度に工事が完了した1期工事分の5.2haに令和3年度はミカンの苗を植栽するなど新たな産地形成がなされつつある。

農家の労力軽減を目的として取り組んでいる農作業支援事業での稲刈り作業の受託は、年々利用者が増加してきており令和3年度は前年度を大きく上回る実績を上げることが出来た。

今後も西海市農業振興公社が行う様々な事業を広く市民の方々に周知を行い、更なる利用拡大を促して行きたい。

## II・【事業内容】

### 1. 農地中間管理事業

平成26年4月から長崎県農業振興公社の農地中間管理機構より業務委託を受けて取組んでいる、農地の貸し手と借り手をつなぐ農地中間管理事業である。

令和3年度は令和2年度と同様に新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、推進チーム実務者会の開催が制限された中で事業推進を行わざるを得なかった。

令和3年度は西彼町小迎地区の農地基盤整備事業地区内の工事が完了した農地を担い手農家に配分することで実績を伸ばすことが出来た。令和4年度以降も随時工事が完了した農地を担い手へ配分を行って行く。

また、現在農地基盤整備事業が計画中の西海町の太田和地区並びに天久保地区の事業推進委員会へ積極的に参加し推進委員の方々等と連携を取りながら事業推進を行った。今後も地元担い手や推進委員、各種関係機関と協力し事業の早期実現を目指す。

#### －農地中間管理事業実績表－

令和4年3月31日現在

年 度	集積筆数	集積面積	集積農家	配分農家
令和3年度	144筆	21.5ha	93戸	121戸
令和2年度	169筆	22.7ha	85戸	50戸
令和元年度	167筆	25.7ha	88戸	63戸
平成30年度	754筆	82.2ha	174戸	87戸
平成29年度	512筆	73.6ha	218戸	121戸
平成28年度	570筆	81.9ha	122戸	70戸
平成27年度	372筆	36.3ha	106戸	32戸
平成26年度	100筆	15.4ha	33戸	16戸
累 計	2,788筆	359.3ha	919戸	560戸



太田和地区基盤整備事業推進委員会 (3/4)



農地中間管理事業 実務者会  
貸出希望農地現地確認 (3/17)

## 2. 農地管理事業

平成22年度より農地利用集積円滑化団体の指定を受け農地利用集積円滑化事業を活用して、農地の出し手と受け手の間に入り農地の貸借を行ってきた事業であったが、農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部改正に伴い、令和2年4月1日より農地利用集積円滑化事業を農地中間管理事業と統合し一体化することが定められた。よって今後は本事業による新たな農地の貸借は無く、これからは農地利用集積円滑化事業で期間満了を迎えた農地の貸借を中間管理事業へ切り替えていく。

また当事業で公社が管理を行っているミカン園において地元の西海市立西海東小学校の3年1組の生徒23名がミカンの収穫体験を行った。社会科の授業の一環として西海市の特産品であるミカンの1年を通しての管理作業等を学習し、西海市の基幹産業である農業に関心を持ってもらえるよう取組を行った。

農地管理状況内訳表

令和4年3月31日現在 (㎡)

町名	借受農地		貸出農地		未貸出農地	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
西彼町	11	24,519	11	24,519	0	0
西海町	5	9,759	5	9,759	0	0
大瀬戸町	4	362	4	362	0	0
大島町	334	179,551	281	153,724	53	25,827
合計	354	214,191	301	188,364	53	25,827



西海市立西海東小学校3年1組 社会科学習（みかん収穫体験）

### 3. 農作業支援事業

繁忙期における農作業の支援対策として、堆肥散布作業や、田植え作業・稲刈作業・籾乾燥作業等の受託作業を行った。

稲刈作業の依頼については農業従事者の高齢化に伴い受託件数が年々増加しており、令和3年度は700aの目標面積に対し919aの実績を上げることが出来た。これは前年実績の646aに対して142%の面積である。この要因としては西海市農業振興公社の農作業支援事業での稲刈り作業受託が徐々にではあるが市民の方々に周知出来てきている事と、令和3年度からJA長崎せいひのライスセンターへの持ち込み対応を可能にしたことが大きいと考える。

令和3年度から新たに開始した田植え作業の受託については、事業の認知度が低く目標面積の100aに対して75aと僅かに及ばなかった。今後は更に事業のPRを行い農家の労力軽減の一助を担えるように事業推進を行って行きたい。

項目 年度	受委託作業名		
	稲刈面積	乾燥籾数量 (依頼件数)	堆肥散布 受託数量
令和3年度	919 a (44 件) 内 RC 持込 264 a (10 件)	1,369 袋 (38 件) 内 籾乾燥のみ 97 袋 (2 件)	21 t
令和2年度	646 a (30 件)	1,110 袋 (30 件)	14 t
令和元年度	505 a (24 件)	1,030 袋 (27 件)	112 t
平成30年度	277 a (13 件)	455 袋(13 件)	164 t
平成29年度	56 a (4 件)	4 件 (6 回)	106 t
平成28年度	55 a (4 件)	4 件 (7 回)	98 t



田植え受託作業



JA ライスセンターへ籾搬入

#### 4. 公社 PR 事業

公社事業の PR については市の広報紙・ホームページ以外に令和 3 年度からインスタグラム等の SNS を活用した事業内容の PR を行った。

今後も公社の事業内容を市民の方々に知って頂けるように PR を積極的に行い市民の方々の更なる公社の利用を促していきたい。

また、農地中間管理事業を進めて行くなかで農地情報の収集は重要であり、より多くの情報収集の為に公社の事業内容の周知を行う必要がある。

#### 5. 6 次産業化推進事業

地元加工グループの商品 PR も兼ねて参加していた「JA 祭」での販売会や、商工会が主催する大型ショッピング施設等での物産展への参加が、令和 2 年度に続き令和 3 年度も新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止が相次ぎ、加工グループの商品を PR する機会が少なかったが、令和 3 年度には西海市農業振興公社が地元生産者と加工グループの橋渡しの役割を担い、出荷規格外の農作物を加工品の原材料として活用する取り組みを行った。今後も生産者のフードロス対策と加工グループの原材料の安定確保のためにシステムの構築を進めたい。また、食品表示法の改正により加工品の栄養成分表示が義務化されたことに伴い農業公社がラベルプリンターを購入し、各加工グループから依頼を受けラベル（裏書き）を有料ではあるが作成を行う取り組みを開始した。

西彼農業高等学校と共に取り組んできた「産・官・学」連携による新商品開発事業では、西海市産の野菜をペースト状に加工し生地やクリームに練り込んだダックワーズやマカロンの試作を行った。食品加工部の生徒の皆さんも新型コロナウイルスの影響で部活動の制限がある中においても熱心に取り組んでいただいている。今後も引き続き試作を重ね商品化に向けた取り組みを支援していきたい。



西彼農業高等学校 食品加工部の生徒 2 名と顧問の先生



「6 プロジェクト・加工所連絡協議会」

令和3年度 収支決算書  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

I. 収入の部

(単位:円)

科目	決算額(b)	法人会計	農地管理事業	農作業支援事業(補助金)	農作業支援事業(事業収入)	6次産業推進支援事業	農地中間管理事業	備考
<b>1. 事業収入</b>	<b>10,016,133</b>	<b>6,104</b>	<b>630,965</b>	<b>0</b>	<b>2,346,104</b>	<b>96,350</b>	<b>6,936,610</b>	
(1)受託収入	9,894,679	0	611,965	0	2,346,104	0	6,936,610	
農作業受託収入	2,346,104				2,346,104			
農地貸付収入	611,965		611,965					
委託料	0							
農地中間管理受託収入	6,936,610						6,936,610	
(2)雑収入	121,454	6,104	19,000	0	0	96,350	0	
預金利息	104	104						
販売収入	115,350		19,000			96,350		
雑収入	6,000	6,000						
<b>2. 補助金収入</b>	<b>16,310,819</b>	<b>13,645,654</b>	<b>424,871</b>	<b>2,029,720</b>	<b>0</b>	<b>210,574</b>	<b>0</b>	
公社運営補助金収入	16,310,819	13,645,654	424,871	2,029,720		210,574		
<b>3. 基本財産運用収入</b>	<b>400</b>	<b>400</b>						
当期収入合計(A)	26,327,352	13,652,158	1,055,836	2,029,720	2,346,104	306,924	6,936,610	
前期繰越収支差額	4,512,795	2,064,468	558,774	0	1,962,090	▲ 72,537	0	
収入合計(B)	30,840,147	15,716,626	1,614,610	2,029,720	4,308,194	234,387	6,936,610	

II. 支出の部

(単位:円)

科目	決算額(b)	法人会計	農地管理事業	農作業支援事業(補助金)	農作業支援事業(事業収入)	6次産業推進支援事業	農地中間管理事業	備考
<b>1. 一般管理費</b>	<b>13,665,654</b>	<b>13,665,654</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
法人会計								
役員報酬	1,920,000	1,920,000						
給料	5,877,800	5,877,800						消耗品費 360,249
賃金	0	0						燃料費 39,421
福利厚生費	1,361,456	1,361,456						光熱水費 254,359
旅費交通費	34,100	34,100						修繕費 1,067,440
需用費	1,726,509	1,726,509						印刷費 0
役務費	199,991	199,991						食糧費 5,040
使用料及び賃借料	734,560	734,560						需用費計 1,726,509
委託料	651,618	651,618						
交際費	20,000	20,000						
備品購入費	265,540	265,540						
負担金	4,000	4,000						
公課費	71,000	71,000						
通勤手当	464,400	464,400						
退職者共済掛金	334,680	334,680						
原材料費	0	0						
<b>2. 事業費</b>	<b>12,071,044</b>	<b>0</b>	<b>1,055,836</b>	<b>2,029,720</b>	<b>1,741,954</b>	<b>306,924</b>	<b>6,936,610</b>	
(1)農地管理事業	1,055,836	0	1,055,836	0	0	0	0	
賃金	32,860		32,860					消耗品費 46,789
福利厚生費	297		297					燃料費 126,380
需用費	227,689		227,689					光熱水費 27,933
役務費	47,520		47,520					修繕費 26,587
使用料及び賃借料	563,170		563,170					需用費計 227,689
委託料	33,000		33,000					
負担金	146,300		146,300					
公課費	5,000		5,000					
旅費交通費	0		0					
備品購入費	0		0					
(2)農作業支援事業	3,771,674	0	0	2,029,720	1,741,954	0	0	消耗品費 28,035
賃金	895,340			0	895,340			燃料費 177,783
福利厚生費	1,590			0	1,590			光熱水費 24,527
需用費	592,179			0	592,179			修繕費 361,834
役務費	142,715			0	142,715			需用費計 592,179
委託料	0			0	0			
備品購入費	43,230			0	43,230			
機械装置購入費	2,029,720			2,029,720	0			
公課費	66,900			0	66,900			
貸倒償却	0			0	0			
(3)6次産業推進支援事業	306,924	0	0	0	0	306,924	0	
旅費交通費	14,960					14,960		消耗品費 11,715
需用費	11,715					11,715		需用費計 11,715
役務費	31,979					31,979		
使用料及び賃借料	2,270					2,270		
原材料費	2,000					2,000		
委託料	244,000					244,000		
備品購入費	0					0		
(4)農地中間管理事業	6,936,610	0	0	0	0	0	6,936,610	
給料	4,632,600						4,632,600	消耗品費 150,223
福利厚生費	786,745						786,745	燃料費 83,320
旅費交通費	0						0	修繕費 70,400
需用費	303,943						303,943	需用費計 303,943
役務費	212,734						212,734	
使用料及び賃借料	656,188						656,188	
通勤手当	344,400						344,400	
<b>3. 予備費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
当期支出合計(C)	25,736,698	13,665,654	1,055,836	2,029,720	1,741,954	306,924	6,936,610	
当期収支差額(A-C)	590,654	▲ 13,496	0	0	604,150	0	0	
次期収支差額(B-C)	5,103,449	2,050,972	558,774	0	2,566,240	▲ 72,537	0	

# 正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計		その他会計				法人会計	合 計
	農地管理事業	小計	農作業 支援事業	6次産業推 進支援事業	農地中間管 理事業	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
受託収入	611,965	611,965	2,346,104	0	6,936,610	9,282,714	0	9,894,679
農作業受託料		0	2,346,104			2,346,104		2,346,104
農地貸付料	611,965	611,965				0		611,965
委託料		0			6,936,610	6,936,610		6,936,610
雑収入	19,000	19,000	0	96,350	0	96,350	6,104	121,454
直売所用出荷作物収入		0				0		0
預金利息		0				0	104	104
販売収入	19,000	19,000		96,350		96,350		115,350
雑収入		0				0	6,000	6,000
補助金収入	424,871	424,871	2,029,720	210,574	0	2,240,294	13,645,654	16,310,819
公社運営補助金収入	424,871	424,871	2,029,720	210,574		2,240,294	13,645,654	16,310,819
販路拡大補助金収入		0				0		0
基本財産運用収入	0	0	0	0	0	0	400	400
基本財産運用収入		0				0	400	400
農産物直売所事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
直売所販売手数料		0				0		0
<b>経常収益計</b>	<b>1,055,836</b>	<b>1,055,836</b>	<b>4,375,824</b>	<b>306,924</b>	<b>6,936,610</b>	<b>11,619,358</b>	<b>13,652,158</b>	<b>26,327,352</b>
(2) 経常費用								
事業費	3,314,117	3,314,117	5,230,802	2,026,881	8,155,558	15,413,241		18,727,358
役員報酬	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	1,152,000		1,536,000
給料	1,375,540	1,375,540	1,375,540	981,660	5,220,380	7,577,580		8,953,120
賃金	32,860	32,860	895,340			895,340		928,200
福利厚生費	285,726	285,726	287,019	221,272	943,861	1,452,152		1,737,878
旅費交通費		0		14,960		14,960		14,960
需用費	227,689	227,689	592,179	11,715	303,943	907,837		1,135,526
役務費	47,520	47,520	142,715	31,979	212,734	387,428		434,948
使用料及び賃借料	563,170	563,170		2,270	656,188	658,458		1,221,628
委託費	33,000	33,000		244,000		244,000		277,000
備品購入費		0	43,230			43,230		43,230
原材料費		0		2,000		2,000		2,000
公課費	5,000	5,000	66,900			66,900		71,900
負担金	146,300	146,300				0		146,300
通勤手当	92,880	92,880	92,880	77,400	406,320	576,600		669,480
減価償却費	120,432	120,432	1,350,999	55,625	28,132	1,434,756		1,555,188
管理費							5,536,243	5,536,243
役員報酬							384,000	384,000
給料							1,557,280	1,557,280
福利厚生費							412,210	412,210
旅費交通費							34,100	34,100
需用費							670,509	670,509
役務費							199,991	199,991
使用料及び賃借料							734,560	734,560
委託料							651,618	651,618
備品購入費							265,540	265,540
交際費							20,000	20,000
負担金							4,000	4,000
公課費							71,000	71,000
通勤手当							139,320	139,320
退職者共済掛金							334,680	334,680
減価償却費							57,435	57,435
<b>経常費用計</b>	<b>3,314,117</b>	<b>3,314,117</b>	<b>5,230,802</b>	<b>2,026,881</b>	<b>8,155,558</b>	<b>15,413,241</b>	<b>5,536,243</b>	<b>24,263,601</b>
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 2,258,281	△ 2,258,281	△ 854,978	△ 1,719,957	△ 1,218,948	△ 3,793,883	8,115,915	2,063,751
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 2,258,281</b>	<b>△ 2,258,281</b>	<b>△ 854,978</b>	<b>△ 1,719,957</b>	<b>△ 1,218,948</b>	<b>△ 3,793,883</b>	<b>8,115,915</b>	<b>2,063,751</b>
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益		0				0		0
車両運搬具売却益		0		0	0	0		0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用								
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,258,281	△ 2,258,281	△ 854,978	△ 1,719,957	△ 1,218,948	△ 3,793,883	8,115,915	2,063,751
他会計振替額	2,258,281	2,258,281	854,978	1,719,957	1,218,948	3,793,883	△ 6,052,164	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	2,063,751	2,063,751
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	27,634,025	27,634,025
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	29,697,776	29,697,776
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	29,697,776	29,697,776

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I. 資産の部		II. 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
普通預金	8,673,225	未払金	3,571,173
未収金	4,200	預り金	175,135
立替金	88,967		
流動資産合計	8,766,392	流動負債合計	3,746,308
2. 固定資産			
基本財産	20,000,000		
車輛運搬具	2		
器具備品	1,013,437		
機械装置	3,664,253		
固定資産合計	24,677,692	負債合計	3,746,308
		III. 正味財産の部	
		正味財産	29,697,776
資産の部合計	33,444,084	負債及び正味財産合計	33,444,084



財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
普通預金	長崎西彼農協 大瀬戸支店	8,048,028
	十八親和銀行大崎支店	625,197
未収金	3月分アイス売上	4,200
立替金	受取委託料料立替分他	88,967
流動資産合計		8,766,392
2. 固定資産		
(1)基本財産		
定期預金	長崎西彼農協 大瀬戸支店	20,000,000
(2)その他の固定資産		
車輛運搬具		2
器具備品		1,013,437
機械装置		3,664,253
固定資産合計		24,677,692
資産合計		33,444,084
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		3,571,173
預り金	従業員預かり源泉所得税等	175,135
流動負債合計		3,746,308
2. 固定負債		0
固定負債合計		0
負債合計		3,746,308
正味財産		29,697,776


# 監 査 報 告

令和 4 年 6 月 9 日

一般財団法人西海市農業振興公社

代表理事 北川 和道 様

監事 松野 栄松 

監事 森 浩三 

私たち監事は、令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況についての報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの付属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上